

嬉野市塩田庁舎等利活用基本構想策定に係る中学生アンケート調査

1. 調査方法

- (1) 調査対象：塩田中学校に通う生徒（1～3年生）
- (2) 調査月：令和5年7月
- (3) 回収結果

学年	回収数
1年生	92
2年生	89
3年生	77
計	258

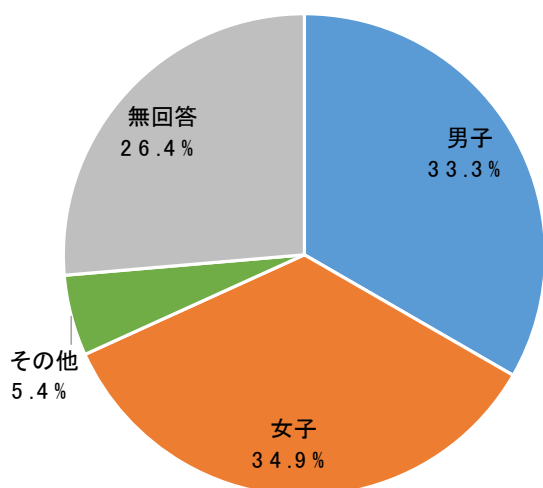
2. 回答者属性

(1) 性別及び校区について

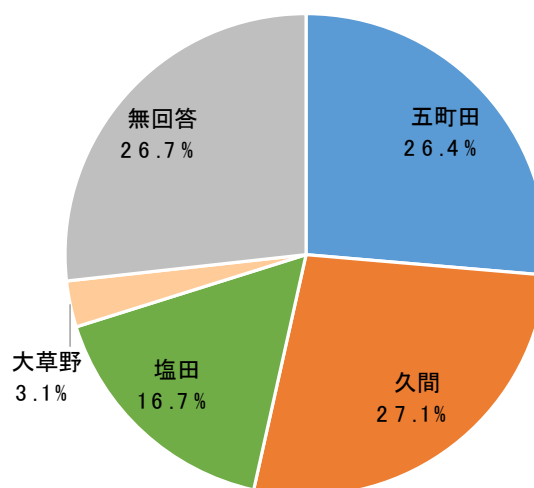
回答者の性別については「男子」「女子」共に3割半ばとなっている。

居住する4校区にういては、「久間」「五町田」校区が3割弱で最も多く、次いで「塩田」校区の2割弱となっている。

【回答者の性別】



【回答者の校区】

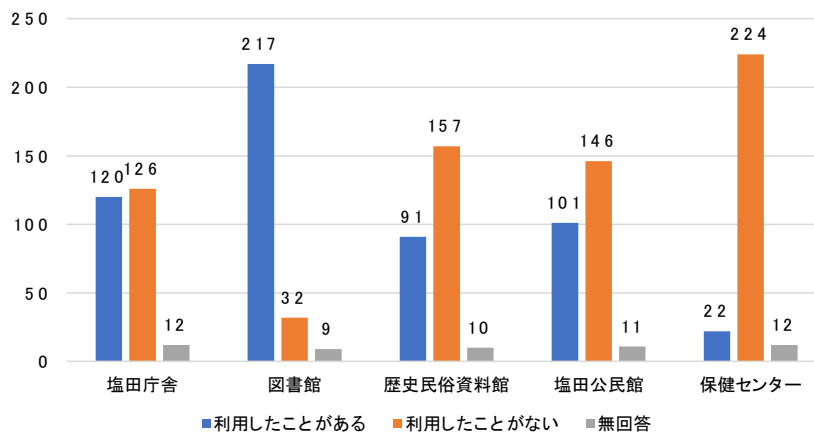


(2) 塩田庁舎及び周辺公共施設の利用状況について

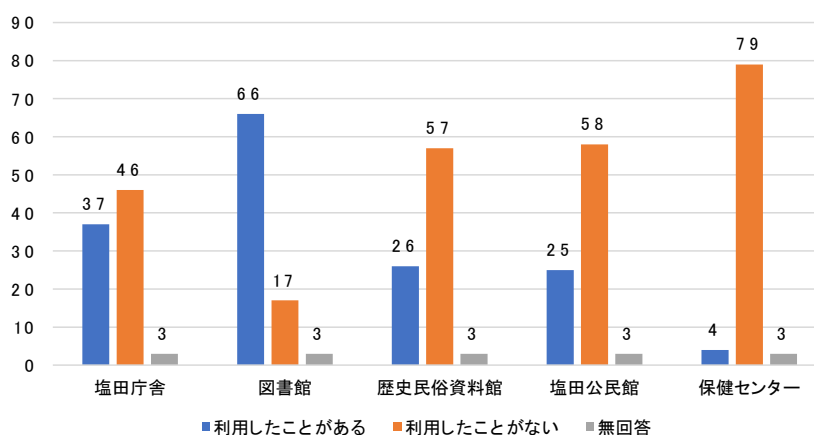
回答者の塩田庁舎及び周辺公共施設の利用状況については、図書館の利用状況が最も高く、ついで塩田庁舎の利用となっている。

男女別に見ると、どの施設においても女子の利用度が高い。

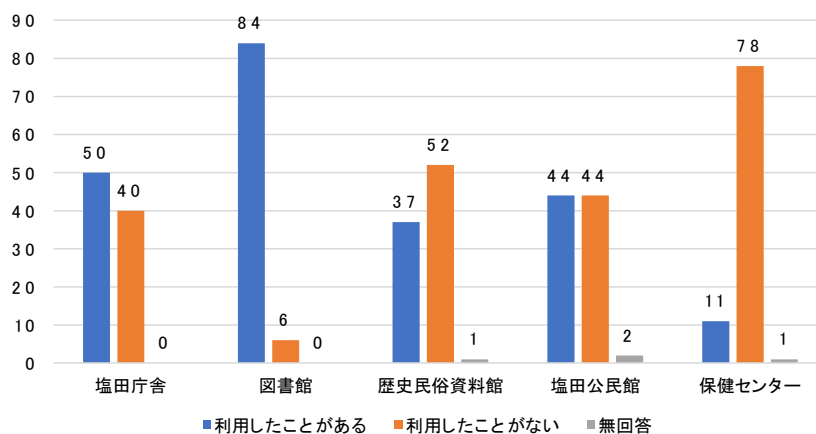
【塩田庁舎及び周辺公共施設の利用状況】



【男子の利用状況】



【女子の利用状況】

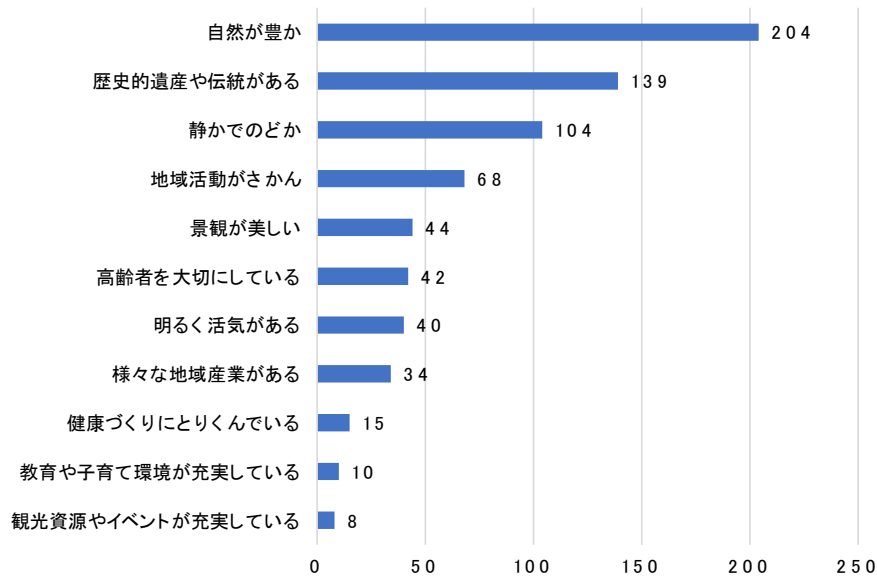


(3) 塩田町のイメージ

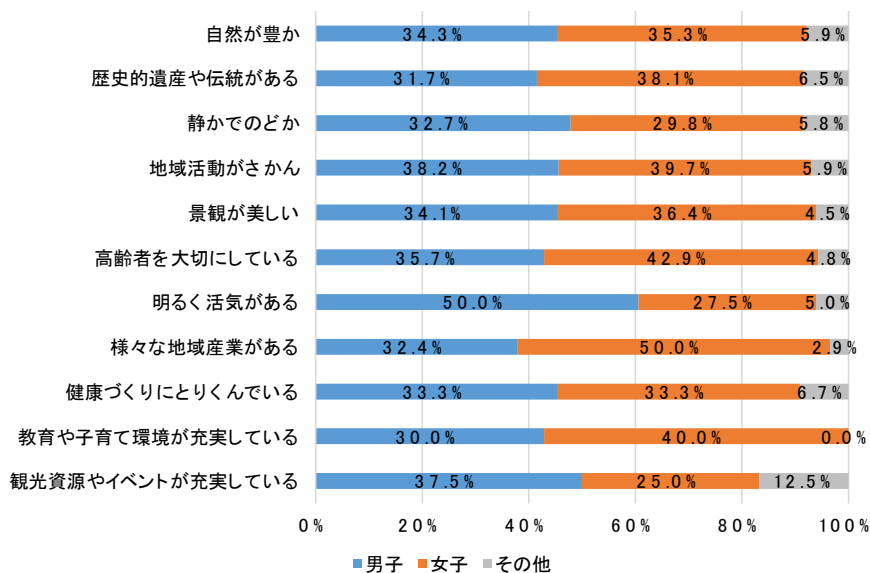
塩田町のイメージについては、「自然が豊か」が最も多く、次いで「歴史的遺産や伝統がある」となっている。

男女別の回答においては概ね同じ割合であるが、「明るく活気がある」については男子の割合が多く、「様々な地域産業がある」「教育や子育て環境が充実している」に関しては女子の割合が高い。

【塩田町のイメージ】



【男女別の割合】



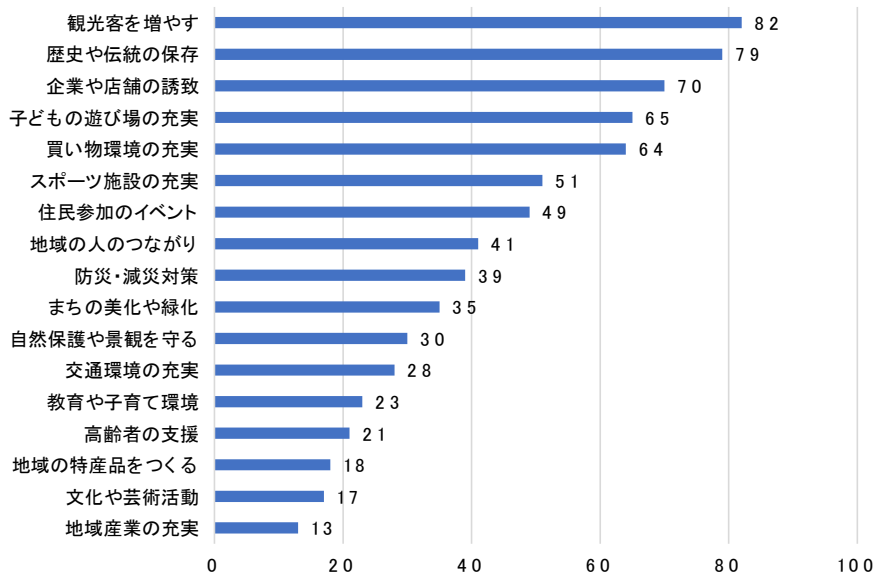
※性別の無回答は除く

(4) 塩田町で特に取り組んでいくべきだと思うイメージ

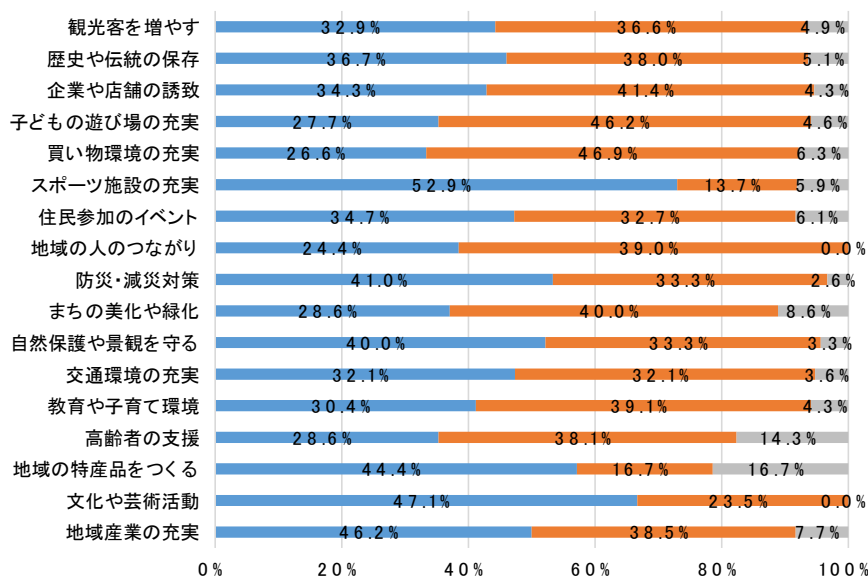
塩田町で特に取り組んでいくべきだと思うイメージについては、「観光客を増やす」が最も多く、次いで「歴史や伝統の保存」となっている。

男女別の回答においては、男子では「スポーツ施設の充実」の割合が高く、次いで「文化や芸術活動」となっている。女子では「買い物環境の充実」の割合が高く、次いで「子どもの遊び場の充実」となっている。

【取り組んでいくべきだと思うイメージ】



【男女別の割合】

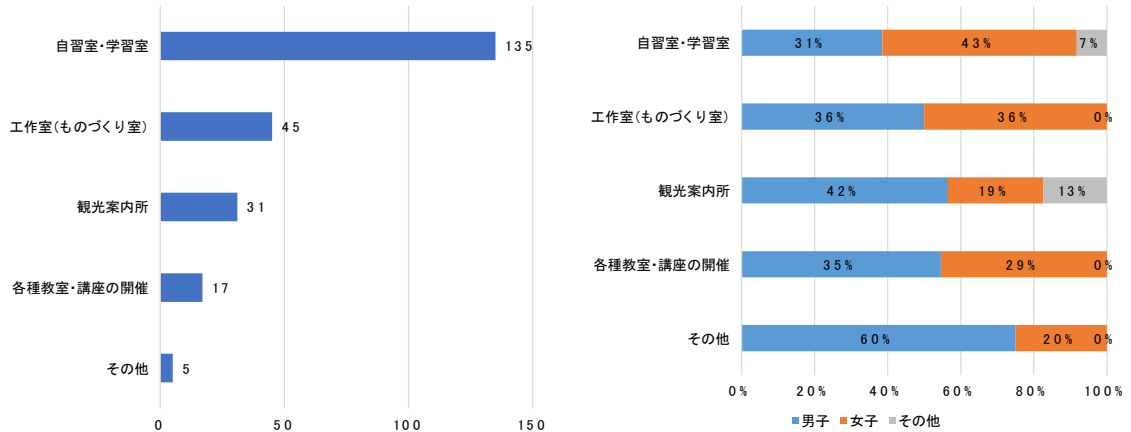


※性別の無回答は除く

(5) 塩田庁舎の利活用について

会議室・諸室の利活用について、「自習室・学習室」への活用が最も多く、男女別では女子の割合が高い。次いで「工作室」となっている。

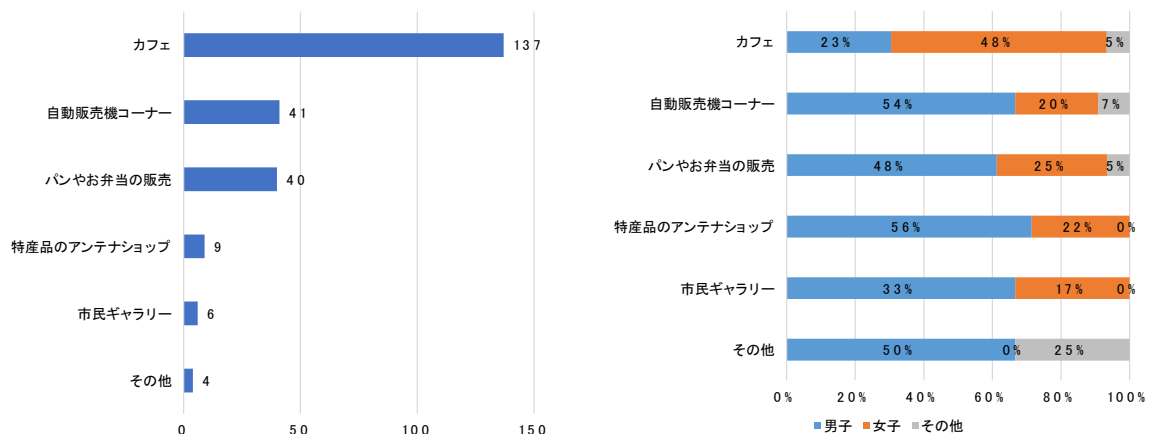
【会議室・諸室の利活用】



※性別の無回答は除く

オープンスペースの利活用について、「カフェ」への活用が最も多く、男女別では女子の割合が高い、次いで「自動販売機コーナー」となっている。「カフェ」以外ではいずれも男子の割合が高い。

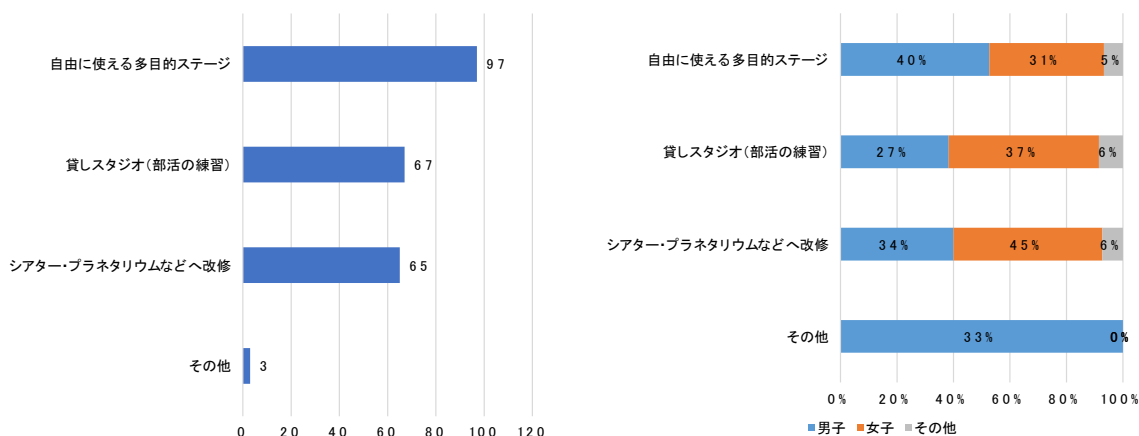
【オープンスペースの利活用】



※性別の無回答は除く

議場の利活用について、「自由に使える多目的ステージ」への活用が最も多く、男女別では男子の割合が高い、次いで「貸しスタジオ（部活の練習）」となっており、こちらは女子の割合が高い。

【議場の利活用】

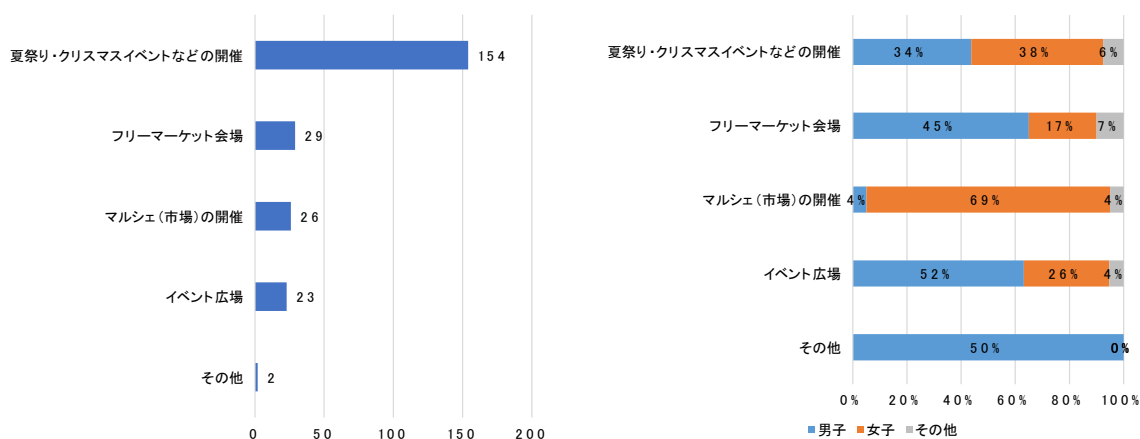


※性別の無回答は除く

駐車場スペースの利活用について、「夏祭り・クリスマスイベントなどの開始」への活用が最も多く、次いで「フリーマーケット会場」となっている。

男女別の回答においては、男子では「イベント広場」や「フリーマーケット会場」の割合が高く、女子では「マルシェ（市場）の開催」や「夏祭り・クリスマスイベントなどの開催」の割合が高い。

【駐車場スペースの利活用】



※性別の無回答は除く